

野木沢

自治センターだより

平成28年 1月号

◇編集と発行 野木沢自治センター
電話 26-4939
FAX 26-3135
◇発行責任者：センター長
二瓶 匡

地域のことをみんなで考えよう

「のぎさわ だれでも塾」

野木沢のこれからを一緒に考えませんか

野木沢まちづくり委員会、有志、宮城大学の学生さんたちが立ち上げた「だれでも塾」を紹介します。「まちづくりって何だろう」をテーマに、地域のみなさんが気軽に集い、自由に意見を出し合って、地域の課題は何かを発見してさらに話し合いを進めれば、その解決策がきっと見えてくるはずです。そのための絶好の機会が「のぎさわ だれでも塾」です。



第1回目は、地区文化祭とときめき交流祭を開催した10月31日におこないました。宮城大学の平岡教授からまちづくり報告を伺ったあと、これからの野木沢の課題=未来についてグループ討議を行いました。「地域に必要なこと」「私にできること」「私がしたいこと」の3つの視点で意見を出し合い、結果として、地域の人たちが気軽に集い、自由に意見を交わす場が必要であり、「だれでも塾」を継続して開催していくことになりました。

第2回目は、12月12日(土)に実施しました。個別的な声かけにもかかわらず28名のみなさんが集い、社会の現状と地域の現状について意見交換を行いました。国・地方財政、過疎化と生活不安、安心と安全は誰が保障してくれるのか、もはや行政には頼れない時代がそこまでやってきているというのが共通した認識でした。みんなで話し合い、地域の問題を掘り起こし、その解決に向けてみんなで行動する理想的な地域づくりのために、皆が集える場をみんなで作る。それが第一歩だと思います。

次回は2月頃に開催を考えています。当センターだよりでご案内いたしますので、さらに多くのみなさんが参加されますことを期待いたします。



若い人もおじいちゃんも



女性の視点で地域を見よう



子どもたちも一緒に参加

今年も、小学生「書き初め大会」を実施

野木沢青少協・地区子ども育成会主催

12月23日（水）は書き初め大会に向けた「書き初め練習の日」でした。1年生～6年生までの39名が参加しました。

1～2年生は硬筆、3年生以上が毛筆で練習に励みました。指導は書道の大家・円谷溪舟氏、中村弘氏、有賀昭氏にお願いしました。「なぜ、書き初めをするのか？ という菊池校長先生の質問に、「新年に書き初めをすると、字が上達し、学習もよくなるからです」ときっぱり回答した6年生の児童たち。ほんとうに頼もしい子どもたちです。



本番の「書き初め大会」は1月4日（月）の9時からです。

新春の清々しい気持ちで「書」にのぞんでほしいと思います。作品は、1月10日～17日まで自治センターホールに展示いたします。

野木沢駅環境整備作業を実施

12月4日（土） 6:30～7:30

毎年継続している野木沢駅環境整備事業は、7月と12月の2回実施しています。今回は、12月4日（土）の早朝6時30分から区長会、長寿会、自治センター等から17名が参加し、駅周辺の草刈りと植木の剪定などを行いました。年末年始の「ふるさとの駅」を気持ちよく利用してもらおうと、地元人ならではのボランティア事業です。前回も今回もとくに感じたのは、空き缶やゴミ類が少なかったことです。さらに駅利用者のマナーが向上している現実に、今後いっそうの環境整備の継続を強く感じたものでした。



1月の行事予定

- 4日（月） ・青少協「書き初め大会」 9:00～
- 6日（水） ・ミニディのぎさわの会 9:00～
- 9日（土） ・まちづくり特産品部会定例会 19:00～
- 10日（日） ・どんと焼き 中野・塩沢子ども育成会 8:00～
- ・書き初め展 17日まで
- ・中野地区新春の集い 18:00～
- 19日（火） ・野木沢料理教室 19:00から